

## 佐賀から世界へ！ 世界海洋プラスチックセンター(仮称) プロジェクトの寄附募集

佐賀県では、「人を大切に、世界へ誇れる佐賀づくり」のため推進している様々なプロジェクトの中から、寄附金(ふるさと納税・企業版ふるさと納税等)の使い道をお選びいただける『プロジェクト応援寄附』を設けています。



[寄附はこちら]



[センター概要]



波戸岬海浜公園内予定地



# World Ocean Plastic Center

世界  
海洋プラスチック  
センター(仮称)  
構想



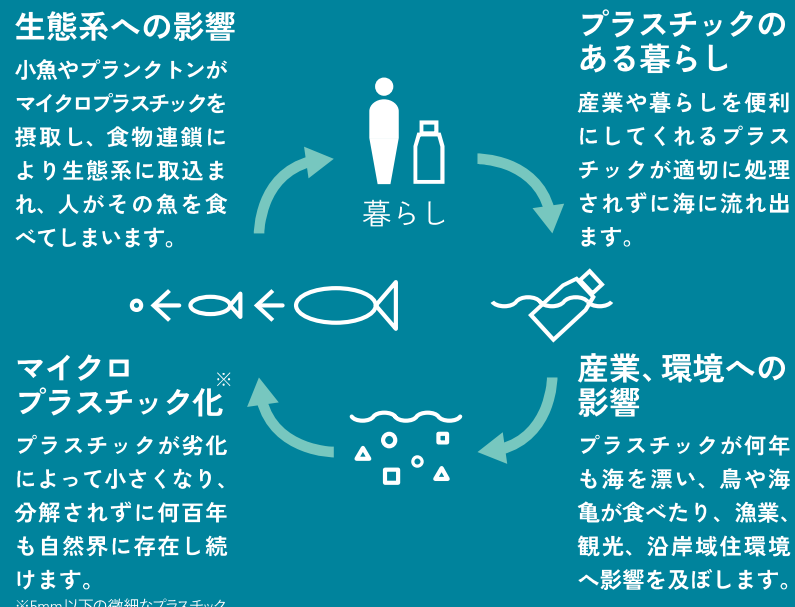


# 佐賀の岬から世界の海を取り戻そう。

安価で耐久性に優れ、現代社会になくてはならない素材となっているプラスチック。それらは私たちの生活を支えています、適正に処理されないことで「海洋プラスチック」という、新たな問題を生まれました。佐賀県は海洋漂着物が大量に流れ着く九州北部の中心に位置します。大陸との玄関口であったこの地で、海洋プラスチックの問題を抱える多くの国や地域とネットワークを構築し、新たな潮流を生み出します。自然と人のつながりを見つめ直す「森川海人っ」プロジェクトを進めてきた佐賀県だからこそできる取り組みです。佐賀から、SDGsの実現に寄与し、未来の海へつながるビジョンを描いていきます。



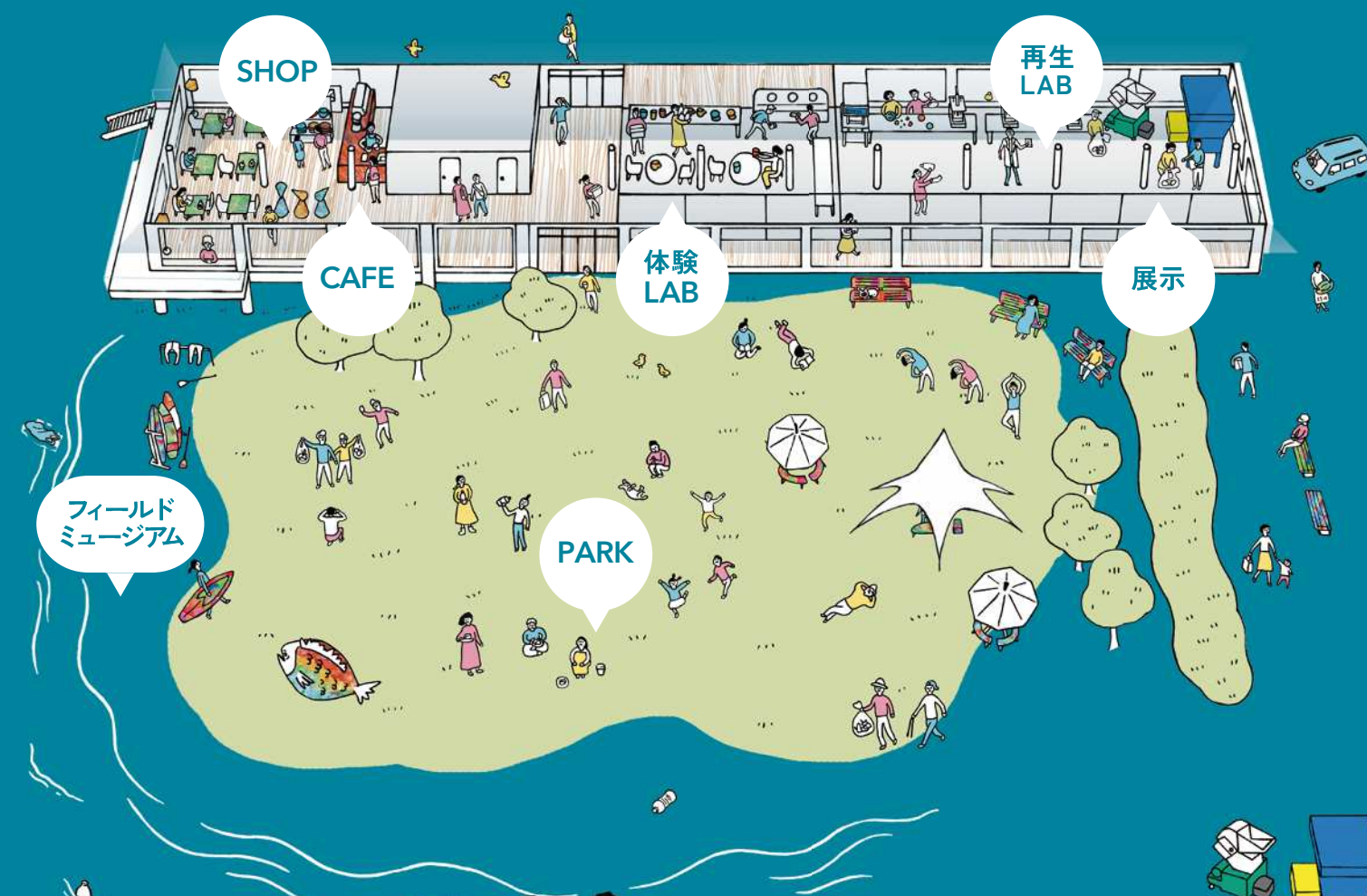
## 海洋プラスチック問題とは



## 海流と九州北部の状況

# 海と大地のフィールドミュージアム 世界海洋プラスチックセンター 2026年OPEN予定

仮称  
玄界灘を舞台に回収から再生、展示、研究、体験、物販などを通して、気軽に海洋プラスチック問題について体感することができます。人が集まり、体験し、考え、未来の暮らしのヒントを知る。一人ひとりが“できること”からはじめましょう。



## 教育・展示・研究

ラボでは、海洋プラスチックが資源化されるプロセスを実際に見学できます。また、パネルや映像資料などの展示や、大学や企業等との連携により、海洋プラスチック研究の最新情報などを知ること。



## 海洋プラスチック回収再生

ボランティアや漁業者、企業と連携し、また学校の体験学習や拾い箱から海洋プラスチックを回収。民間企業の再生技術により、それぞれに合った方法でアップサイクルし新たな価値を創造します。



## フィールドワーク・体験

ビーチクリーンやスタディツアー、藻場再生の現場見学、原料化された海洋プラスチックのものづくり体験ワークショップなど、施設を拠点として、海洋プラスチックに関するさまざまな体験が可能です。



## CAFE・SHOP

海洋プラスチックをアップサイクルしたインテリア等を用いた空間で、地元の素材にこだわったドリンクやスイーツなどを提供します。アップサイクル商品や地元産品などの販売も行い、地域活性的な場へ。



## 佐賀県と地域の取組紹介

有明海と玄海という2つの海に面し、山や川が暮らしの身近にある佐賀。「森川海はひとつ」という思いを人が未来へつなぐ」という理念のもと、「森川海人っプロジェクト」がスタート。環境を体験し学ぶ機会や森川海で活動する個人・団体のネットワークをつくり、これまでビーチクリーンや海ごみ回収箱の設置など地域の人々と共に取り組んでいます。

